

# 古 城

第 35 号

＝発行者＝  
茨城県立江戸崎総合高等学校  
同窓会広報委員会  
TEL 029-892-2103  
＝印刷所＝  
倉沢印刷株式会社

## ごあいさつ



同窓会長  
山岡 恒 夫  
(昭和43年度卒)

会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃からの、会員の皆様方の同窓会に對しましてのご協力に心から感謝致しております。

今年度も、母校の生徒達が頑張りました。高校野球夏の茨城大会で四回戦まで勝ち進んだのははじめとして、弓道部、馬術部の活躍も目立ちました。進学においても、平成十九年度より毎年国公立大学に進学者を出しており、今年度も茨城大学に四名の生徒が合格しました。二年前より始めた同窓会給付型奨学金を毎年贈ることが出来ることは、喜ばしいことです。

平成十七年にスタートした江戸崎総合高校は今年八年目を迎えております。十周年を迎えるに当たって、同窓会としても、記念誌の発行等の準備をはじめます。

母校を取り巻く地域の環境が、圏央道の整備と共に大きく変わろうとしております。阿見東ICでは、百六十八ヘクタールの土地区画整理事業、アクセス道路整備、雪印メグミルク工場の建設。稲敷ICでは、コメリ株式会社が物流センター建設と、大型開発が進んでおります。

私は、地元の小学生と田植えと稲刈りをしています。小学生の「米作りで、一番大切なことは何ですか」という質問には、台風が来ても倒れない稲を作ることだと答えています。稲は水と肥料が大好きなのですが、やり過ぎると、弱い稲になって倒れてしまうので、途中、水と肥料を断つて、丈夫な稲を作る工夫を農

家の人はしている。つらいことを乗り越えることによつて、私達はたくましくなれるという話をしています。

江戸崎総合高校を巣立つ若い皆さんには、困難な時代に負けない強さと、たくましさをも身につけて、社会で活躍していただきたいと思ひます。

会員各位の、今後益々のご活躍と、母校の発展と飛躍を祈念いたしましてご挨拶いたします。

## 四十年ぶりの母校



学校長  
根 崎 稔 美  
(昭和46年度卒)

昨年四月に取手一高から赴任して参りました根崎です。四十年ぶりに母校に戻り、胸熱くなるものを感じながら日々後輩たちと共に生活しております。

さて、同窓会会員の皆様方には平素より物心両面からのご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。在校生にとりまして、同窓生の皆様方は常に特別な存在であります。先輩方の各方面での活躍を自分のことのように喜び、

またそれを目標にして日々努力を積み重ねることが出来るからであります。

教職員一同、生徒一人ひとりに寄り添いながら諸先輩を手本とし、学力については当然のことながら、部活動や学校行事等を通じて「生きる力」を培い、バランスのとれた成長を支援しております。本年度の教育活動の成果としましては、茨城大学に四名合格、弓道部・馬術部の関東大会、全国大会出場、夏の高校野球県大会での四回戦進出など近年にない結果を出す事が出来ました。

ところで、昨年十月下旬に本校のホームページをリニューアルオープンし、同窓会のコーナーを開設致しました。同窓生を繋ぐ縦糸と横糸がさらに確かなものとなり、母校に対する愛情と絆を一層深められ、同窓会活動が一段と活性化される機会になればと存じます。今後とも皆様方の温かいご支援・ご鞭撻をお願いし、ご挨拶と致します。



**大学進学を  
考えている  
在校生の皆さんへ**

**江戸崎総合高等学校  
同窓会は給付型奨学金で  
皆さんを応援します!**



日日上



副会長 飯塚育男 (昭和29年度卒)

私達は誰でも、生まれつき授かっている性格や能力というものがありません。それは「天才」というような華々しいものではなく、地味で目立たないが静かに光り輝いている「凡人」が一般的でしょう。それでも何か一つ位は他人にない優れた物を持っているのです。

この世の中、私達は全て、多くの人達や、その人を通して与えられる種々な力によって支えられ、助けられて生きています。幼年期から大人になるまでに、親や近所の人々、学校の先生方や先輩など、多くの人の手で沢山の知識や技術を教えられて一人歩きが出来るようになりました。そして、外に出れば交通機関にお世話になり、勤める所があるお陰で働くことができず。私達はこのような、多くの力によって生きています。これらの事に気付けば、私達は決して一人で生きられるの

だとは思わないでしょう。人間はあらゆるものから生かされていると言えます。ただ一人で生きることには出来ません。どれほど優れた足跡を残してきた人も、天才と称えられた人であっても、一人だけの力で成し遂げたと言いつけることは難しいと思います。幼い頃から地域社会など環境に影響されたり、先人に学ぶことが多いものです。大輪の「つばみ」も努力と情熱と探求心があつてこそ、たっぷり滋養を与えられ大きく花開くことが出来るのです。

貴方が貴方しかないものを持つているのと同様に、ここに百人の人がいれば、百人ともが、貴方には無いものを持っているのですから、見方を改めてみると、この世の中はお手本となるものが溢れている素晴らしい花園なんだと思われれます。従って、一人でも多くの人間から何かを学ぼうとする限り、私達は昨日より今日、今日より明日へと向上することが出来るのです。

『われ以外、みな師』  
そう思える人は日日上するのです。



出席者全員で校歌斉唱



第106回同窓会代議員総会

稲敷発展に向けて

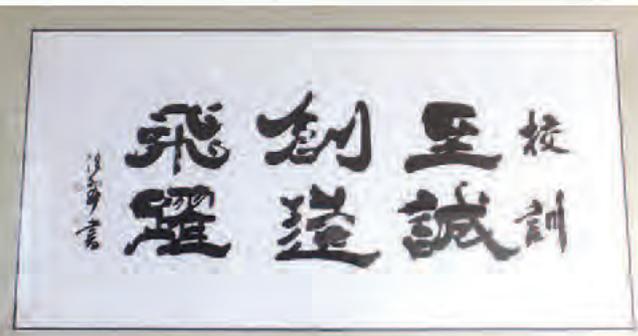


参与 田口久克 (昭和41年度卒)

稲敷市長の田口久克でございます。同窓会会員の皆様には、ご健勝にて、それぞれの分野でご活躍のこととお慶び申し上げます。

稲敷市が誕生して、今年で八年目を迎え、平成二十六年には町村合併十年という節目を迎えようとしております。この二年から三年は稲敷市が大きく変わる節目の時期であります。

圏央道がもたらす効果を活かした「企業誘致の推進」、観光拠点整備による交流人口の拡大、そして、市の基幹産業である「農業の振興」、さらには市民の生命財産を守る「防災体制の強化」など、今後の稲敷市発展の基礎となる政策を実現しなければなら



ないと考えております。

これからは稲敷市の発展のために、全力で取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、私は年を重ねるごとに校訓でありまします「至誠・創造・飛躍」にますます強い共感を覚えます。

今後ともより一層のご支援ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

未来は若者のもの



竜ヶ崎支部長  
岩田 邦夫  
(昭和38年度卒)

日本中が東京オリンピックに酔った昭和三十九年に卒業。高度成長期を迎え、企業は「金の卵」である若者達を積極的に採用し、友人達は様々な職業に進んでいった、そんな時期でした。

高度成長時代が二十年近く続き物心両面が潤う時代に、私達は酔いしれていました。昭和から平成に変わり、高度成長期も終わり、経済・産業共に大きな打撃を受け、特に自動車産業、電気産業等日本の花形製造業は海外に生産拠点を移し、雇用環境の悪化を招き、就職難となり、三十代の若者五人中、三人がフリーターというのが現状です。  
一日も早く経済低迷から脱出して、企業はゆとりある職場を提供し正規社員として採用することが必要ではないでしょうか。未来の若者達に魅力ある社会を作っていくのが、先人達の役目と思ひながら文章

を書いております。最後に、卒業生、在校生、皆様の益々の活躍をご祈念申し上げます。



歩み



高田支部長  
岡沢 成美  
(昭和38年度卒)

終戦の年、昭和二十年に生まれた私は、農家の長男であるがため当然農業高校に入り、三年間級友と楽しく勉強や農業実習に汗を流したことを思い出しております。

特に農業実習では、動力機械も少なく、鎌・鍬・万能など手作業での実習でした。

三年生になると進路を含めた将来のことについて農業科担任の太田・根藤・岡崎各先



生のアドバイスを受け、更に江戸崎農業改良普及所の大久保正明さん(当時)からも、資格を持つて農業後継者にと勧められ、県立農業講習所で二年間学び、農業改良普及員として三十三年間、農家の指導に携わってまいりました。  
これも歴史と伝統ある母校を卒業したという誇りと感謝の念で一杯です。  
平成十一年に退職した私は、稲敷ロータリークラブ員(会長の職)として昨年三月に、東日本大震災で原発事故の被害を受けた南相馬市にある福祉施設にパンの乗用車二台を寄贈しました。他にも様々な奉仕活動をしております。最後になりますが、母校の発展と卒業生の皆さんのご活躍を心からご祈念申し上げます。

近況について



君原支部 副支部長  
浅野 敬司  
(昭和42年度卒)

収穫の時期を終えた十月末に何度目かのクラス会が開かれました。二十三名程の参加者が集い楽しい時を過ごしま



したが、卒業後四十五年、十五人いた同胞の中で七名の物故者があり高齢化社会と言われる現在、とても残念でなりません。私達は還暦も過ぎましたが、これから益々自愛をし、また地域や母校の発展を祈りつつ、更に元気で頑張っていこうや。そんな話しをしながらまたの再会を誓い合っており、名残惜しみながら会はお開きとなりました。

世界チャンピオンになって



根本 梢  
(平成21年度卒)

私はパワーリフティングを始めて六年で世界の頂点に立つことが出来ました。この喜びはどう表現すればよいか自分自身よく分かりません。

大会では常にアメリカやロシアの有力選手が存在し、自分はこの人達に勝てないし、才能も無いかもしれないと考えようになり、何度も引退しようと考えたりしました。

しかし、私をここまで育ててくれた両親、いつも支えてくれた友人、恩師の先生方、地域の方々、そして、いつも多大なご支援をして頂いている同窓会の皆様がいたからこそ、世界大会に出場し続け、念願であった優勝の栄冠を手

にすることが出来ました。とにかく今は、皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。これからももっともっと自分磨きをし、金メダルのように輝いていこうと思います。



稲敷市長へ優勝報告！

プロフィール  
日本橋学館大学の三年生  
経営学専攻  
パワーリフティング部所属  
江戸崎総合高校在籍時からパワーリフティング日本選手権で五年連続優勝し、世界選手権も五年連続出場。  
今年の八月にポーランドで開催された「世界パワーリフティング選手権大会」の四十三キロ以下級で初優勝。  
トータル優勝は日本人初。  
※パワーリフティングとはバーベルを持ち上げ、その重さを競うスポーツ。  
「スクワット」「ベンチプレス」「デッドリフト」の三種目の最大挙上重量のトータル(総計)で競う。  
二〇一五年の和歌山国体から正式種目となる。

校内各部署だより

つながり

生徒指導部長 本田 歩

「いじめはダメ」。今年度は全国的にいじめが話題となり、学校としての対応や生徒の心の状況を理解・把握することに努力が求められた年度でした。保護者の方からも、お子様を心配しての意見や学校としてどのような対応をしているのか聞かれることが度々ありました。学校生活の中でいじめを発生させないよう指導したり、人間関係を改善するための調停を行ったりすることもあります。「こんな良くない話しをなぜ?」とお思いでしょうが、江戸崎総合の生徒は素晴らしい生徒が多いことに気づかされました。改善のきっかけが少し出来る、自分達で直接話し合いをし、相手との相違を感じて自分の言動を変えます。また相手の気持ちを受け入れ、自然に相手を受け入れています。先生も生徒も一生懸命に直接コミュニケーションを取ってなんとかしようと思えます。生徒と話してい

ると、人と人のつながりを大切に考えていて、トラブルを解決しようと頑張っている姿勢がはつきり見えます。  
また、近所や地域の方と接しても江戸崎総合の生徒を心配しての意見や、「最近不審者が多いからその対策を」など生徒を見守る温かい目が感じられます。この学校内と地域の温かい雰囲気や大事にして、私も「つながり」を深めていきたいと思えます。最後に、同窓会の皆様とも「つながり」を深めながら生徒の成長に貢献したいと思えますので、今後ともご指導ご鞭撻を  
お願い致します。



進路状況報告

進路指導部長 仁林 拓也

本年度の進路状況は、十二月十日現在で進学希望者八十九人中、大学十九名、短大三名、専門学校四十八名の合計七十名が合格しています。そのうち四名が茨城大学へ合格したのははじめ、自己実現のために、東海大学、京都産業大学、職業能力開発総合大学校、そして医療系の学校への進学者も出ています。就職希望者は、九十名中六十二名が内定を得ています。就職については、雇用形態の変化、事業所の統合、海外進出等の影響を受けて、高校生に対する求人は減っていく一方となっています。

また、地元志向の強い本校生には、限られた範囲での仕事探しとなり、さらに厳しい状況となっています。これからも良いキャリア教育を目指して力を注いでいきたいと思えます。

最後に、同窓会の皆様の益々のご活躍を祈念すると共に、今後とも指導ご鞭撻を宜しく  
お願い致します。



平成二十四年度進路状況

(十二月十日現在)

主な進学先	合格者数
茨城大学	4
東海大学	1
京都産業大学	1
流通経済大学	2
つくば国際大学	3
中央学院大学	5
職業能力開発総合大学校	1
県立中央看護専門学校	1

主な就職先	合格者数
自衛隊	1
日野自動車	1
東洋シヤッター	2
DNPデータテクノ	2
城東テクノ	2
筑波セントラル病院	2
キャンノンワールド	1



### 生徒会

#### ボランティア活動

特別活動部長 安藤 成男

十月二十五日(木)の午後と二十六日(金)に第三回校内江陵祭が行われました。二十五日はクラスステージの発表を行いました。ダンス、紙芝居、ビデオ上映といろいろなステージでのパフォーマンスが見られました。二十六日はクラスの企画展示がありました。今回は前庭から体育館一階に場所を移し模擬店等を行いました。模擬店での売上金十五万六千七百七十七円は稲敷市に寄付をしました。震災の義援金として使うそうです。

エコキャップ運動では、今年の二月から始めて十一月まででキャップ五万八千八百三十個(ワクチン六十四人分)を送ることが出来ました。PTAと協力して行った、ベルマーク運動では七千八百円相当を集めることが出来ました。

今後もボランティア活動を継続していきますので皆様のご協力をお願い致します。

なお、ペットボトルのキャップは簡単に洗って乾かしてから持ってくるようお願い致します。



校内文化祭 初の体育館下広場で模擬店



生徒会寄付 稲敷市に寄付。震災復興に使われます。

### 福祉系列の

#### 目指すこと

福祉系列主任 石橋あゆみ

本校の福祉系列では、介護技術はもちろん、コミュニケーション能力と他者を尊重出来る人間づくりを目指しています。介護士は利用者と信頼関係を築くため、コミュニケーション能力が必要不可欠です。コミュニケーションや心理に関する学習は、社会生活で大変役立つ内容なので、生徒も意欲的に学んでいます。

夏の介護実習では、二年次と三年次は共に十日間の施設実習を行います。緊張と不安上手くできない悔しさで涙を流す生徒も中にはいますが、全員が最終日には達成感でいっぱいになります。

秋には、夏の介護実習で経験したことをパワーポイントにまとめ、教員や施設職員の前で発表します。

また、実習で判断に迷った事例について再現して、適切な対応について生徒同士が話し合ったりもします。

今後も、学校内外の活動を大切にし、地域の皆様のご協力の下、プロの介護士として地域社会に貢献できる生徒の育成に努めていきたいです。



救命講習授業



介護実習授業

# あつたあつた

## 一年生

一学年主任 山本 正光

私が昨年この学校に赴任して以来、この学校の生徒について特に強く感じることにそれは、自分の感情を素直に表に出せる子が実に多いということです。

こちらの問いかけに対して、良くも悪くも反応が大きいゆえに、その素直な感情表現がいとおしく思えて、時にその対応に手こずることもありま。もちろん、全員がそのようなタイプというわけではなく、自分の思いや感情をうまく表現出来ない子もいます。そういう子は、感情や思いを表に出せる子の陰に隠れやすく、場合によっては犠牲にもなる可能性があります。

だからこそ、生徒に対しては、日々のちょっとした声掛けを大切に、彼らの話に真摯に耳を傾けて、少しずつ彼らとの信頼関係を築いていきたいと考えています。

## 二年生

二学年主任 川松 隆宏

今年、生徒達は球技大会や文化祭など各行事においてクラスごとにまとまり、工夫を凝らし一生懸命に活動しました。HT・CAと共に遅くまで準備に奔走した文化祭、球技大会では、生徒の動きの歯がゆさに学年主任が活躍しすぎて棄権となったサッカーなど。生徒と先生が一緒になって、楽しみ、そして、一生懸命活動しました。年明けの修学旅行もホームルームを活用し良い準備をしています。

学習面においても、長期休業中の基礎学力宿題とテストを継続して、全体の底上げを図り、平日課外、休日課外を国教英の三科目を中心に進学者への指導を実施。就職者三十四名を対象とした就業体験も控えております。また、公務員模試、看護模試、進学模試など分野を絞り実施予定です。二年次あと約一年です。良い準備がすべてを決める所存で邁進して参ります。

## 三年生

三学年主任 松本 現

今年はおリンピックでの日本人の活躍に国内が沸いた。一方で、本校課外活動も輝かしい戦績をおさめ、関係者一同喜びに沸いた。なかでも野球部、夏の県大会ベスト十六は記憶に新しい。特に三年生九名は、入部してから誰一人欠けずに三年間練習を重ねてきた。その努力が実を結んだ結果と感ぜずにはいられない。その他、弓道部関東大会ベスト十六、バスケット部地区大会準優勝、ロボットコンテスト優勝、弁論大会入賞。更に演劇部、サッカー部、ソフトテニス部の躍進ぶりも目が離せない。各功績の陰に、活動の礎を築いた三年生の姿が垣間見える。勉学以上に大切なことを学んだ彼らの顔つきは、入学時とは見違えるほどに逞しい。

その彼らをここまでご指導ご支援して下さった全ての関係者に、年次担当者として、深く感謝致します。同窓会の皆様方には、今後ともご指導をお願いすると共に、会の益々のご発展を心より祈念します。



あつという間の



三年間でした。

# 活況を呈する稲敷エリア

## 県電ケ崎工事事務所 圏央道関連事業箇所図

平成24年3月現在



同窓会事務局より

毎回、会報誌「古城」発行につきましましては、関係者の皆様方のご協力により、原稿等を頂きまして大変感謝いたしております。

今後も会報誌の発行を継続していく為にも、これまで同様、年会費(金壹千円也)のご協力納入を宜しくお願い致します。

### 同窓会代議員総会のご案内

日頃より会員の皆様には、同窓会への多大なるご協力を頂きまして誠に感謝しております。

毎年三月末に開催しております代議員総会は、母校の教育充実発展のためにも、より多くの役員の方々にご出席頂ければと思います。

毎回、三月上旬頃には往復ハガキにて同窓会代議員総会のご案内をしております。

何かとお忙しい時期とは思いますが皆様の参加をお待ちしております。

# 江戸崎総合高等学校 創立10周年にむけて



江戸崎総合高等  
学校同窓会では  
江戸崎総合高等  
学校創立十周年  
を迎えるにあたり

記念誌発行を企  
画しております。  
また、記念講演  
の実施や応援歌  
を体育館に掲げ  
る予定です。

## 本部役員

会長

副会長

監事  
(校長)

顧問

事務局

山岡恒夫	飯塚育夫	岡見武夫	大島居良行	松田由雄	及川和雄	根崎稔美	松本弘志	根本博一	中澤弘	鈴木晶	中山昭	桑島徹	唐澤章	金澤典	酒井義雄	會田文夫	茂木徹	飯塚好	高石起	鳥羽正行	黒岩喜一	糸賀和夫	糸賀勝男	菱木明美	細谷昌寿
------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------

## 支部長

江崎洋一	朝日向克夫	岡沢成美	木野清一	南房孝	羽成邦夫	平野勝雄	渡辺政通	森山美博	平岡俊一	野口千春	飯田芳春	有坂勝	篠田嵩	沼崎亨夫	山口勝	山本幸衛	根本治夫	松本幸	江本精一	秋本新也	内本和昭	宮本孝司	荒井孝	大竹博	松本勇	藤ヶ崎一郎	永井治郎	湯原担	小更光	岩田邦夫	猪俣忠男	高木昂	長谷川清	本橋克夫	朝日向成美	岡沢清一	木野清一	南房孝	羽成邦夫	平野勝雄	渡辺政通	森山美博	平岡俊一	野口千春	飯田芳春	有坂勝	篠田嵩	沼崎亨夫	山口勝	山本幸衛	根本治夫	松本幸	江本精一	秋本新也	内本和昭	宮本孝司	荒井孝	大竹博	松本勇	藤ヶ崎一郎	永井治郎	湯原担	小更光	岩田邦夫	猪俣忠男	高木昂	長谷川清
------	-------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	------	-----	------	------	-----	------	------	------	------	-----	-----	-----	-------	------	-----	-----	------	------	-----	------	------	-------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	------	-----	------	------	-----	------	------	------	------	-----	-----	-----	-------	------	-----	-----	------	------	-----	------

## 平成二十五年 事業計画(案)

校内幹事会	随時
本部役員会(本年度事業について)	五月下旬
本部役員会	七月下旬
本部役員会	八月中旬
研修会(先進地)	八月下旬
本部役員会	十月下旬
本部役員会(会報「古城」について)	十二月上旬
会報誌「古城」編集委員会	十二月中旬
会報誌「古城」編集委員会	一月中旬
会報誌「古城」編集委員会	二月上旬
本部役員会(代議員総会について)	二月上旬
同窓会入会式	二月下旬
卒業記念品贈呈	二月下旬
会報誌「古城」第三十六号発行	二月下旬
校内幹事会・本部役員会	三月上旬
本部役員会・会計監査	三月中旬
第一〇八回江総同窓会代議員総会	三月下旬



## 編集後記

今年度も関係者の皆様から多くのご寄稿を頂き、古城第三十五号をお届けすることが出来ました。ご協力誠に有り難うございました。

今回も各方面から貴重な原稿を頂き、同窓会関係者のご意見や現在の様子等に加え、夏の高校野球、インターハイでの活躍等スポーツや学習に多くの実績を重ねている、江戸崎総合高等学校の現在の様子を、お届けすることが出来たのではないかと思います。今後とも紙面を通して、少しでも会員の皆様の絆を深め、本会発展のお役に立てればと願っております。

最後になりますが、江戸崎総合高等学校も、間もなく十周年を迎えます。今後とも皆様のご協力ご支援をお願い申し上げます。

## 広報委員

※右から

鳥羽 勝  
岡見 武夫  
飯塚 育男  
大島居良行